



松戸市リサイクルセンターが 令和4年4月より稼働しました！



今まで、松戸市の資源選別処理施設であった資源リサイクルセンターは、昭和56年にしゅん工後、約40年が経過し、施設の更新が必要となっていました。また粗大ごみについては、材料ごとに各施設で処理していたことから、処理量の増加に伴う処理後のごみ（残渣）の移送などの負荷が大きくなっていました。

これらの課題を解決し、安定的かつ効率的な処理体制を構築するため、粗大ごみ、不燃ごみおよび有害ごみなどを1施設で処理することができる「松戸市リサイクルセンター」が建設されました。



個別での持ち込み方法

粗大ごみ等を同施設に個別で持ち込む場合、まずインターネットまたはお電話（047-707-2746）にて事前に予約をします。予約が取れましたら、予約日に現地に向かいます。一般道より右折して入場してください。直接持込専用計量棟まですすみしたら、遮断機の前で待ちます。係員がきますので、指示に従ってごみの計量をしてください。終わりましたら、出口計量棟へ進み、ここで手数料を支払います。料金は1キログラム当たり17.6円（税込）です。ただし、20キログラム未満は一律352円（税込）となります。支払い後は出口に進み、退場となります。

研修に参加して ～松戸市リサイクルセンターと流山市クリーンセンター～

11月8日 研修事業として27名が参加して、ごみの減量や分別・リサイクルについて学びました。

最初に、本年4月から稼働している松戸市リサイクルセンターを見学しました。最新の技術を導入し、騒音・臭気などの環境対策を図りながら、粗大ごみ、不燃ごみ、有害ごみを1ヶ所で処理することが可能となり、処理後のごみの残り（残渣）の移送費用が軽減されています。ごみ処理は環境に負荷をかけており、ごみの適正処理には市民の協力が欠かせません。「ごみになる物を減らす」「ごみにしないで繰り返し使う」「資源として再利用する」が必要です。

次に、他市施設も参考にと流山市クリーンセンターを見学しました。松戸市も流山市も資源循環型社会を目指しているようです。町会もごみ集積所への不法投棄、分別の不徹底など難題があります。今回の研修を踏まえ、町会でも機会ある毎にごみの減量、分別の徹底を再度周知し少しでも循環型社会に近づけるよう協力していきたいと思います。最後に、今回このような環境美化に関する研修の機会を作って頂き感謝申し上げます。

馬橋下宿町会会長 大川 賢一



● ● ● 花いっぱい運動に取り組む町会のご紹介 ● ● ●

小金原6丁目7番住宅組合 ～令和4年度松戸市表彰～

「きれいな街づくりに功労のあった団体として、この花いっぱい運動が評価され、令和4年度松戸市から表彰されました！」

小金原6丁目7番住宅組合では、季節ごとに花を植えかえ、一年を通してバラ園、ばたん園の手入れをして、なるべく花を絶やさないようにしています。活動は住民の有志による「造園サークル」が月に2回行っています。

花 壇



皇帝ダリア



バラのアーチ



ゴミを正しく出しましょう

～リサイクルを推進しよう！～



正しい分別をすることで、資源の循環的な利用（リサイクル）を促進し、限りある資源の消費を抑制し環境負荷をできる限り低減することができます。ゴミの出し方で注意して欲しいことをあげましたので、是非ご活用下さい。

☆リサイクルできない紙類を資源ごみに混ぜないで☆

段ボール・新聞紙・雑誌・雑がみは種類ごとに分別し、リサイクルできない紙類を混ぜないようにお願いします。以下の紙類はリサイクルできません！

- レシートなどの感熱紙、宅配便の伝票
- 防水加工された紙類
- 汚れのついた紙類
- においのついた紙類



☆雨の日・雨が降りそうな日は布類を出さないで☆

雨に布類が濡れるとカビが生え、リサイクル資源として活用できなくなってしまいます。

☆スプレー缶・カセットボンベの処分について☆

中身を使い切り、穴を開けずに、不燃ごみとして出すようお願いします。どうしても中身が使い切れない場合は松戸市リサイクルセンターへ予約し、持ち込むようにして下さい。その際、手数料がかかります。

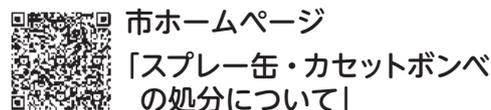
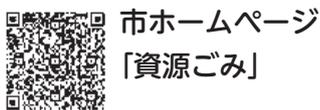
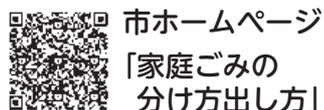


☆リサイクルするプラスチック(容器包装プラスチック)☆

容器包装プラスチックの「プラマーク」がついている、商品の容器や包装に使われているプラスチック製のものが対象です。

出し方は以下の通りになります。

- 透けて見えるポリ袋に出してください。
- 二重袋にはせず、一つの袋にごみをまとめて出してください。
- 中身を使い切ってから、水ですすぐなど、きれいにしてから出してください。
- 汚れやにおいが落ちないものは、「その他のプラスチックなどのごみ」で出してください。



令和5年度事業計画(案)

【基本方針】

本連合会は環境美化意識の高揚を図り地域における環境美化活動を支援・推進するため、次の事業を実施します。また、市が行う環境政策に対して積極的に連携・協力していきます。

【実施事業】

1. 清掃器具共同購入事業
2. 広報誌発行事業
3. 花いっぱい運動モデル事業
4. 環境美化啓発用看板作製・配付事業
5. 研修事業
6. 表彰事業
7. その他

シリーズ 町会紹介

第38回

ときわ だいらやなぎちようちようかい 常盤平柳町町会



世帯数 407世帯
住民数 1,558名



松戸市提供

常盤平柳町町会は常盤平団地から八柱駅方面に隣接する4町会(常盤平陣屋前町会・同西窪町町会・同双葉町町会)の中の一つです。

昭和35年に常盤平団地の居住が始まり、地域の環境が大きく変わりました。松戸市立第四中学校では、校舎が足りずプレハブで教室が建てられ1学年11クラスもあるマンモス中学校になり、あかぬけたクラスメートと学ぶこととなりました。

町会は、金ヶ作第2次区画整理事業により宅地造成が完了した、昭和45年6月に140世帯で常盤平柳町町会として誕生しました。(旧住所は日暮)

現在の町並みは、街路樹も大きく豊かに育ち、緑に囲まれた落ち着いた雰囲気のある街となり、ちびっこ広場では町会誕生の翌年から始められた夏の風物詩「盆踊り大会」が、ここ数年は中止されましたが、連綿と続けられています。また、防犯活動の夜回りや歳末特別警戒、町会美化の清掃など住民皆様のご協力のもと活動しております。

ここ数年は、新たな住宅が立て替えられ、若い世帯が増え、子供たちの元気な声も耳に入るようになりました。旧住民と若い住民が明るく会話ができる安心安全な地域を目指し、町会活動を進めて行きたいと考えております。

役員紹介

会 長	恩田 忠治	中和倉第一
副 会 長	室井 一義	松戸新田第4
//	坂田 元	八ヶ崎第一
常任理事	本祥 保彦	八ヶ崎第二
//	榎本 好昭	新作第三
//	中村 勲人	松戸新田第一
//	中島 貞夫	下矢切栄町
//	神田 正昭	岩瀬
会 計	小嶋 功	金ヶ作
監 査	吉田 嘉男	竜房台
//	渡部 栄綱	紙敷新田

編 集 後 記

最近ではコロナウイルスへの対策が緩和され、従来の生活に戻りつつあります。去年は地区環境美化組織連合会として松戸市リサイクルセンターへ研修に行きました。

また、連合会は小金原地区に1町会(小金原九丁目町会様)加入があり、61町会、36,176世帯になりました。

今後益々地域連合会として、発展することを期待致します。

広報部長 宇田 尚亮

連 合 会 会 員 名 簿

- 明 地 区 仲井町町会 大畑自治会 岩瀬自治会
根本第五町会 根本第七町会 胡録台第一自治会
胡録台高見自治会 松戸新田第一町会
松戸新田第4町会 松戸新田第5町会
栄町7丁目町会 稔台第10町会
緑ヶ丘一丁目自治会 緑ヶ丘2丁目町会
- 矢 切 地 区 下矢切第一町会 下矢切第二町会 下矢切第三町会
下矢切栄町町会 下矢切睦会町会 下矢切若葉町会
栗山第二町会 三矢小台三丁目町会 大橋東町会
郊外大橋町会 二十世紀が丘町会 大橋南町会
上矢切第一町会 小山台町会
- 馬 橋 地 区 馬橋中宿町会 馬橋下宿町会 馬橋前田町会
馬橋坂町会 馬橋北町会 新作一丁目町会
新作第二町会 新作第三町会 三ヶ月町会
幸谷町会 中和倉第一町会 中和倉第二町会
中和倉第三町会 中根町会 八ヶ崎第一町会
八ヶ崎第二町会 八ヶ崎第三町会
八ヶ崎七丁目町会 八ヶ崎新町町会 竜房台自治会
- 常盤平地区 常盤平6丁目町会 金ヶ作町会 佐野町会
千駄堀第一町会 常盤平柳町町会
- 小金原地区 小金原6丁目7番住宅組合 **小金原九丁目町会**
- 馬橋西地区 馬橋中央町会 馬橋住吉町会 **新規加入町会**
三村新町町会 虹の街町会
- 東 部 地 区 紙敷新田町会 紙敷向新橋町会

61町会・自治会 36,176世帯 (令和4年8月1日現在)

- 広報部会 部長 宇田尚亮 三ヶ月
部員 矢口四郎 八ヶ崎新町
- 事務局 松戸市役所 環境保全課
〒271-8588 松戸市根本387-5
Tel.047-366-7336